



Annual Report 2024

株式会社エヌ・シー・エヌ
年次報告書 2024



Top Message



株式会社エヌ・シー・エヌ
代表取締役社長
田鎖 郁男

2024年4月から2025年3月（第30期）の株式会社エヌ・シー・エヌの活動報告をお届けいたします。
決算報告書などでご報告している経営指標とは別の形で、当社の1年の活動をご覧いただき私たちの活動を支えていただき、多くのステークホルダーの方々からご意見をいただく機会になれば幸いです。

2025年4月から大幅な建築基準法改正（4号特例の縮小）が実施されることが確実となりました。これにより木造住宅でも構造の確認審査が実施され、また、省エネルギー計算の義務も行われることになります。これは当社が設立以来行ってきた構造計算・省エネルギー計算の事業を活かす好機ととらえ、改正基準法に合わせた住宅のサンプルプランの提供、工務店との勉強会の開催など対応への準備を着実にいき、SE 構法のシェア拡大に努めました。結果、住宅着工戸数の減少傾向が続く状況下において、構造計算出荷棟数は増加となりました。

一方、住宅以外の分野では、脱炭素社会に向けた世界的な潮流も進めていくことが、日本の建築業界における大きな課題となっています。地球環境保護を目的として、日本は2050年カーボンニュートラルの実現を世界に向けて宣言しています。住宅の省エネルギー化はもちろん、公共建築物等の非住宅も木造化の流れを加速させなければなりません。

今後こうした社会的な要望を受け、施設建築などは鉄骨造・RC造から木造建築へのニーズが益々増大しています。そのような環境下、当社は環境設計の供給と木造非住宅分野への積極的な投資、社内施設の木構造技術センター（Timber Structure Lab.）において木造技術開発、施工技術開発のために実験を行っています。

2025年3月期における非住宅木造分野での販売実績は、順調に増加させております。特に、関連会社の株式会社 MUJI HOUSE との協働による株式会社良品計画（無印良品）の木造店舗2店舗が完成し、大規模木造建築では国内初の『ZEB』の認定を取得いたしました。今後、この技術は企業各社の脱炭素化に向けた取り組みに利用いただけることとなるでしょう。

また、当社の登録施工店は増加し、SE 構法登録施工店ネットワークは621社を数えるに至りました。今後は、木造耐震化事業、環境設計事業を融合したサービスとすることで、木造建築におけるソリューションプラットフォーム事業として拡大させてまいります。

工務店・ハウスメーカーの皆様と共に、住宅分野、非住宅分野それぞれの社会課題解決に向けて事業を邁進してまいります。事業を支えていただく皆様に謹んで御礼申し上げます。

Company Goals

日本に安心・安全な木構造を普及させる。

日本に資産価値のある住宅を提供する仕組みをつくる。

時代がどんなに変わろうと、エヌ・シー・エヌの創業からの理念は変わりません。それは人が住む家の、当たり前の安全を確保することであり、住む人にとっても、この国にとっても、資産であり続ける家をつくること。

エヌ・シー・エヌは木造建築物に構造計算を行うために独自の建築システム「SE 構法」を開発しました。

地震や台風などの自然災害が多い日本において、「安心・安全な木構造」を普及させることで、日本の住宅の資産価値向上と豊かな暮らしの実現に向けて事業を展開してまいります。

エヌ・シー・エヌの主な事業

1 Technology SE 構法

優れた耐震性能

SE (Safety Engineering) 構法とは、柱と梁に十分に乾燥させ強度が高く品質の安定した「構造用集成材」を使い、その柱と梁を専用の「SE 金物」で剛接合することで、安心かつ便利に利用できるようにシステム化した独自の建築システムです。金物で接合することで従来の木造在来工法に比べて接合部の木材断面の欠損が少なく、大地震で壊れやすい柱と基礎の連結部分には、特殊な「柱脚金物」で直接連結させることで耐震性をさらに向上させています。

さらに「構造計算」を全棟に行うことが、SE 構法の最大の理由でもあります。鉄骨造や鉄筋コンクリート造と同様に建物の強さを計算することで、創業以来発生した東日本大震災や熊本地震、能登半島地震においても SE 構法で建てられた建築物は、1棟も壊れていません。自然災害に強く、長く住み続けることのできる SE 構法は、資産価値のある木造建築物を提供します。

開放的な空間設計

SE 構法はその優れた構造技術によって在来木造では不可能な空間を、高い耐震性を持ちながら自由に実現することができます。開放感のある吹き抜けや広い開口部、ガレージハウス、スキップフロアなども安心・安全に設計できます。また、少ない構造壁での基本設計が可能のため、将来的なリフォームも容易となり、ライフスタイルの変化に住まいが対応することで、長く住み続けられる資産価値の高い住まいが実現します。さらに SE 構法は住宅だけではなく非住宅木造建築の実現も可能です。大規模な店舗、ホテル、社屋などの木造建築で使用する大断面部材や高耐力柱脚金物なども標準ラインナップとし、非住宅木造建築での理想の空間も実現可能です。また、施工は一定の技術水準を満たした SE 構法登録施工店だけが責任をもって施工を行うことで、耐震性能とデザイン性のある理想の建物を提供します。

耐震構法 SE 構法

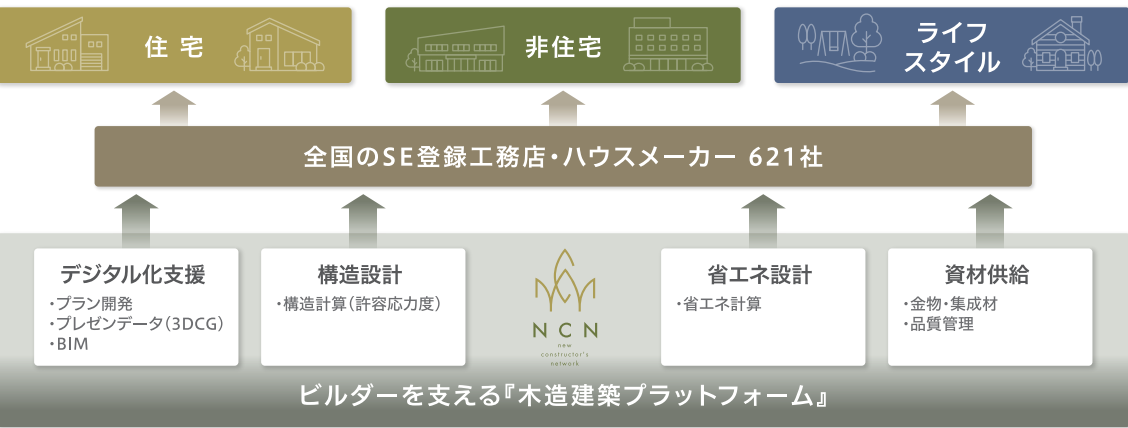
ブランドロゴ

2 Network 木造建築プラットフォーム

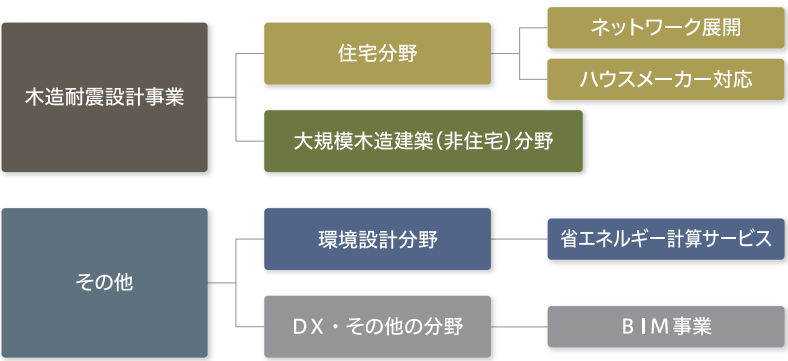
安心・安全・快適な木造建築物を全国に提供する、類を見ないネットワーク事業

エヌ・シー・エヌはシステム化された SE 構法を中心とし、住宅から大規模木造建築（非住宅）、さらに、ライフスタイル提案に至るまで、SE 構法登録施工店と連携しながら全国に提供しています。

その提供が技術力と高い性能を保ちながら円滑に行われるよう、エヌ・シー・エヌは「木造建築プラットフォーム」として各種設計業務から資材提供、デジタル支援など安定的な土台となる体制を構築しています。安心・安全・快適な木構造建築物の普及のための類例のないネットワーク事業として注目されています。

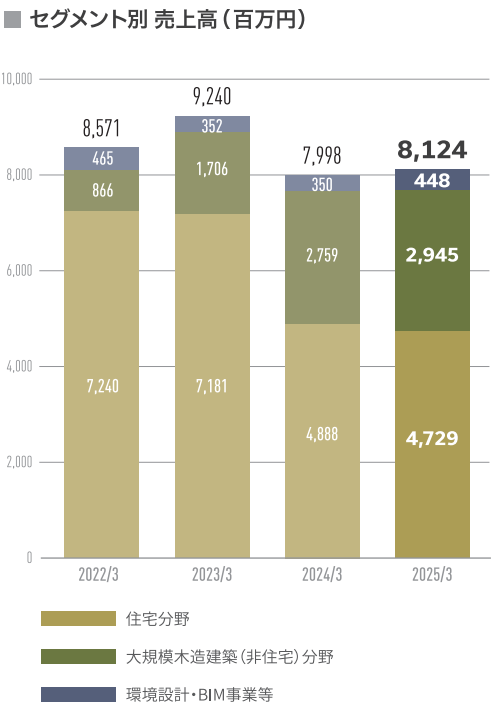


事業セグメント



木造耐震設計事業は「住宅分野」と「大規模木造建築（非住宅）分野」に分類されます。「住宅分野」は、SE 構法登録施工店のネットワークを通じて全国に供給する「ネットワーク展開」と、ハウスメーカーを通じて展開する「ハウスメーカー対応」に分類され、住宅・非住宅共に日本に安心・安全な木構造を普及させるべく構造設計と資材販売の事業を展開しています。

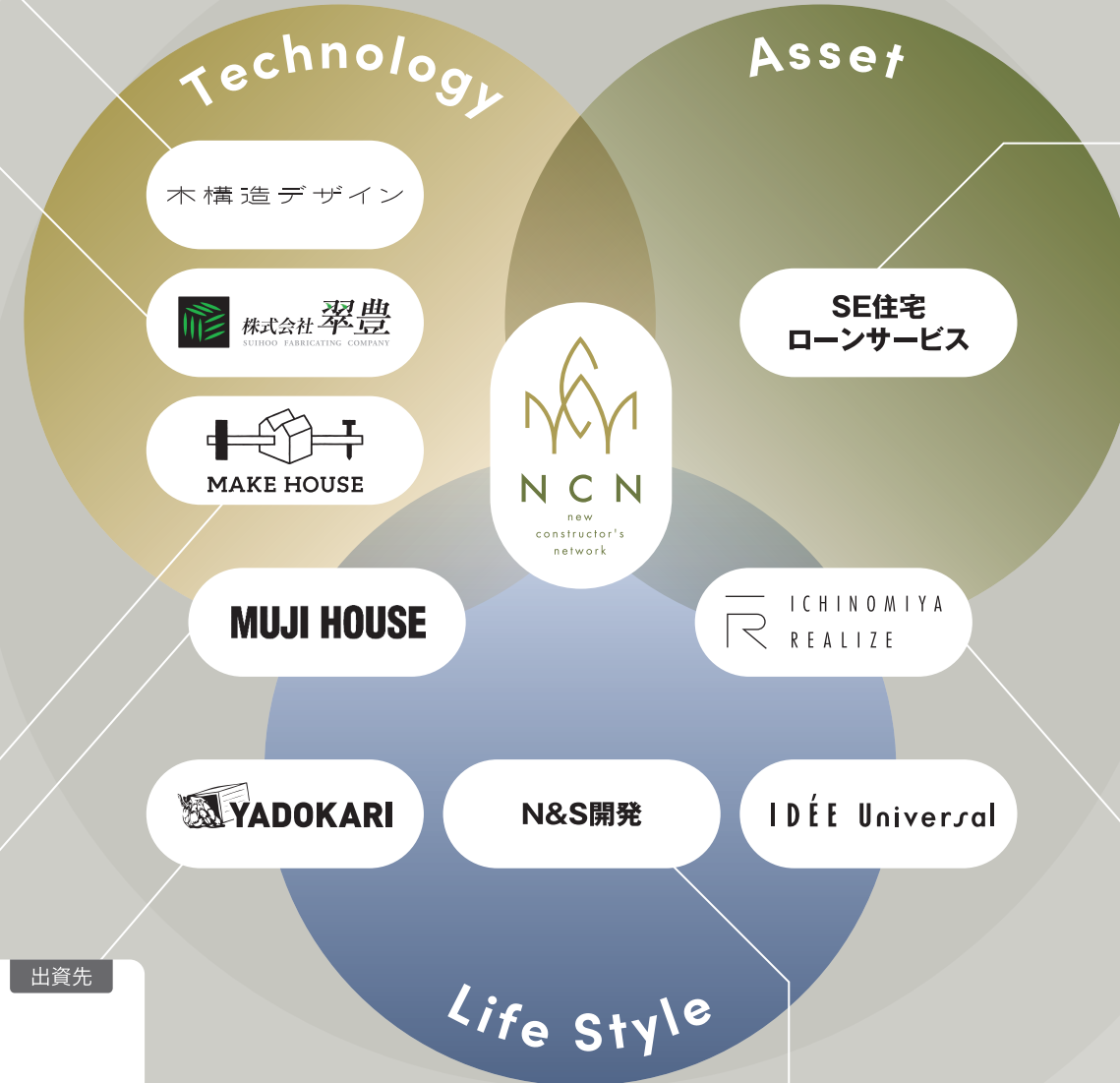
「環境設計分野」は、資産価値の向上のために快適さと省エネルギー化を両立するため、戸建・集合住宅やマンションリノベーション、大規模木造建築などの省エネルギー計算、長期優良住宅申請サポートなどを行っています。「DX・その他の分野」は、木造建築物の設計・生産工程において建築物を情報化する BIM ソリューションの開発や高画質建築空間シミュレーションサービスなどを行っています。



エヌ・シー・エヌ グループ

エヌ・シー・エヌは耐震性能の高い安心・安全な木造建築物の普及と住宅の資産価値向上のために、各種サービスを提供しています。

エヌ・シー・エヌグループは各社がそれぞれの専門性を活かした事業を展開しながら、情報や技術を相互に共有・連携させることで幅広い分野へと事業を広げています。



子会社

木構造デザイン

株式会社木構造デザイン

美しく端正な大規模木造建築を増やし、その市場におけるSE構法の提供に加え、SE構法以外の工法にもエヌ・シー・エヌのノウハウを提供する非住宅木造に特化した構造設計事務所として多くのプロジェクトに貢献しています。

代表者：代表取締役 福田浩史

業務内容

- ・非住宅木造建築物の構造設計（300㎡以上）
- ・生産用CADデータ
- ・加工図作成
- ・木構造BIMデータの作成
- ・プレカット工場ポータルサイト「大規模木造プレカットネットワーク」の企画、運営

<https://tsdesign.co.jp/>

子会社



株式会社翠豊

大断面集成材加工や大規模木造建築の特殊加工、施工に高い技術力と長年の実績を持ち、建築家や大手建設会社からの受注基盤を確立。大規模木造建築のニーズをとらえ、エヌ・シー・エヌと共同で非住宅事業拡大を推進しています。

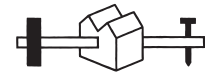
代表者：代表取締役 今井潔志

業務内容

- ・大断面集成材加工・建設業
- ・山林及び丸太の売買
- ・植林・育林・除伐・間伐・伐採業務
- ・太陽光発電設備工事・太陽光発電事業

<https://www.suihoo.co.jp/>

子会社



MAKE HOUSE

株式会社MAKE HOUSE

木造住宅の建築コストや建材、設備機器などの情報を一元化するBIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の活用を、高画質建築空間シミュレーションの導入と共に提案します。

代表者：代表取締役 今吉義隆

業務内容

- ・BIMコンサルタント事業
- ・BIMプロジェクト受託
- ・VR／MR／各種シミュレーション
- ・BIMの自動化と高速化
- ・BIM関連セミナー、教育事業
- ・BIMのプラットフォーム化事業

<https://makehouse.net/>

関連会社

株式会社 MUJI HOUSE

株式会社MUJI HOUSE

幅広い層から支持を受ける無印良品ブランドが手掛ける、全棟SE構法を採用した「無印良品の家」を提供。「木の家」「窓の家」「縦の家」「陽の家」というラインナップで多様な世代や暮らしに対応します。

代表者：代表取締役社長 永原拓生
設立：2000年5月31日

業務内容

- ・「無印良品の家」を中心とした住空間の直営及びネットワーク事業の運営
- ・商品企画／開発／卸し及び販売

<https://www.muji.net/ie/>

出資先



YADOKARI株式会社

世界各地の暮らしの調査研究、小屋・可動産活用による遊休地や暫定地の開発、まちづくり支援を手がけます。エヌ・シー・エヌとの協業により、木材活用の視点から新たな暮らし方の提案を行います。

代表者：代表取締役 Co-Founder ウエスギセイ
代表取締役 Co-Founder さわだいっせい

業務内容

- ・新空間プラットフォーム事業
- ・タイニーハウス販売、リース
- ・メディア、プロモーション
- ・まちづくり、エリアリノベーション

<https://yadokari.company/>

関連会社

SE住宅ローンサービス

SE住宅ローンサービス株式会社

住宅の基本性能を実現するための省エネルギー性能に着目し、技術的サポートと住宅金融ローンによる金融的サポートを提供することで、家の資産化、生活の基盤の安定を目指します。

代表者：代表取締役 松澤顕治

業務内容

- ・住宅ローン取次ぎ
- ・各種保険商品の販売
- ・ファイナンシャルプランのご相談

<https://se-loan.jp/>

出資先



株式会社一宮リアライズ

東京R不動産、オープン・エー、エヌ・シー・エヌの合併事業でエリアマネジメントを行いながら「森」や「木」をテーマに地域活性化に取り組みます。

代表者：代表取締役 馬場正尊

業務内容

- ・一宮町の民家をリノベーションした複合施設「SUZUMINE」の運営
- ・エリアリノベーション

出資先

N&S開発

N & S開発株式会社

サブスク型セカンドハウス事業を行う株式会社Sanuとの合併会社。Sanuが展開する宿泊施設の建築開発などを行います。

代表者：代表取締役 福島弦

業務内容

- ・株式会社Sanuが展開する「SANU 2nd Home」開発・運営

培われた強み

木造建築のトータルソリューション

エヌ・シー・エヌは住宅以外の木造建築への対応を強化するため非住宅木造専門の構造設計事務所として木構造デザインを設立し、SE構法以外の工法でも木造化をサポートしています。さらに翠豊による加工や施工の高い技術力とMAKE HOUSEによる木造のBIM事業、環境設計事業も加わることで、設計から施工まで一気通貫の「木造建築のトータルソリューション」を掲げ事業の拡大に向けた取り組みを推進しています。

エヌ・シーエヌ 建築環境設計



BIMで設計効率をあげ、より早く、より安く木造建築物を提供するMAKE HOUSE

BIM（建築物の情報化）によって木造建築物の設計・生産工程の情報を連動させることで、業務を効率化し、資産価値の高い住宅をより安く・より早く市場に提供するMAKE HOUSE。

また設計者のデザインを高精度に視覚化する3Dパースや、BIMによる設計図書作成などDXから木造住宅の普及に貢献します。

非住宅木造建築専門のサービスで、美しく強い木造建築を広める

木構造デザイン

木造に特化した構造設計事務所として、SE構法以外の在来軸組工法や2×4工法、金物工法など多様な工法の構造設計・計算に対応する木構造デザイン。物件の計画・提案から、提携するプレカット工場や施工会社の紹介までワンストップサービスで解決することができる仕組みによって大規模木造建築への取り組みをサポートします。

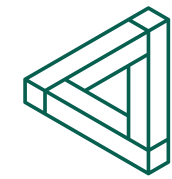


多様な大規模木造建築のアイデアを高い技術力で実現する翠豊

「木を使って、美しい木造建築を作る」をモットーに大断面集成材の加工や木材の特殊加工、大規模木造の建て方・施工を得意とする翠豊。非住宅木造建築の多様化、大型化に伴い、様々なアイデアを提案する建築家や建設会社からの信頼も厚く、その複雑な加工や前例のない施工に挑み見事に実現します。



実験・開発で、さらなる技術を追求する木構造技術センター（Timber Structure Lab.）



今期もSE構法の開発を中心に、他社からの委託実験や共同研究開発など、様々な構造実験を実施し、木構造技術センターの設立趣旨である「SE構法の追求」「あらゆる木構造の開発」「未来に向けた基礎研究開発」の実現に向けて取り組みました。構造実験の範囲も、住宅などの小規模建築物を対象にしたものから、非住宅建築物向けの高性能な木質構造まで幅広く実施しました。

SE構法関連の実験

今期は、SE構法Ver.3の商品化に向けて各種実験開発を進めました。その中でも、エヌ・シー・エヌが独自開発した専用釘「TN釘」は、木構造技術センターを最大限活用して開発した商品です。2022年4月頃から開発を始め、約2年に渡り試行錯誤を繰り返しながら18種類の試作品を作製し、2024年3月に商品化の目途が立ちました。木構造技術センター設立以前は、他社や大学の試験設備を借りて実験を

実施していたため、試験場の稼働状況（空き状況）に左右され開発期間が長くなっていました。TN釘の開発では、2〜3カ月の間隔で試行錯誤をしながら実験を繰り返すことで、これまでよりも早く商品化に繋げることができました。このTN釘を使った耐力壁は高耐力・高剛性で、従来よりも耐力壁の量が減らすことが可能であり、間取りに制限を与えず意匠性の高い建物の設計に繋がります。



SE構法以外の実験

SE構法以外の実験は、委託実験として3社、林野庁の補助事業として2件を実施しました。この件数は昨期よりも多く、木構造技術センターが徐々に社外に周知された結果だと考えています。林野庁の補助事業は、依頼者の会社のホームページにて結果が公開されており、誰でもその結果を使うことが可能

です。また、委託実験の1つは、2025年4月の建築基準法改正に関連して改訂される木構造の設計規準書籍のため実験であり、この結果は同規準書に盛り込まれ、木構造の構造設計に幅広く利用される予定です。



研究関連の実験

昨期に続き、今期も基礎研究を中心に大学との共同研究を進めました。今期は査読付き論文としての発表はできませんでしたが、日本建築学会の年次大会で、木構造技術センターが関連した研究を10件発表しました。また、木構造技術センターのセンター長

である小谷竜城が、「木質ラーメンの構造設計手法に関する研究」というタイトルで、SE構法に限らず、木質ラーメン構造全般の構造設計手法に関する研究で工学の学位（博士号）を取得しました。



論文

せん断降伏型の柱梁パネルゾーン金物で接合された木質ラーメン架構の開発 その3〜その7
2024年8月
著者：村上雅英、笹野貴子、橋本悠希、瀧本直樹、金輝洙、小谷竜城
発表：日本建築学会大会学術講演梗概集、構造III，p.163-172

ラグスクリーボルトのねじ形状が繊維直交方向引抜き性能に与える影響
2024年8月
著者：曾我部敬太、田川麗歩、森拓郎、小谷竜城、中谷誠
発表：日本建築学会大会学術講演梗概集、構造III，p.413-414

グラウトジョイントを用いたCLTパネル工法引張接合部の汎用性拡大に関する検討 その3〜その4
2024年8月
著者：小谷竜城、岡崎友也、仁平瑛士、三宅辰哉、安曇良治、村上雅英
発表：日本建築学会大会学術講演梗概集、構造III，p.465-468

所有知的財産権

	国内	海外	出願中
特許	26件	2件 (米国)	0件
意匠	15件	8件 (EU・中国・米国・カナダ)	0件
商標	21件	6件	3件

革新のあゆみ

1996

1996

・株式会社エヌ・シー・エヌ設立

1997

・SE 構法 建築基準法第38条建設大臣認定取得
・SE 構法の販売を開始

1998

・「7人の建築家によるSE 構法住宅展（SELL HOUSE展）」開催
・住宅業界初の「SE 性能報告書」を発行

1999

・日本初の住宅瑕疵に対する保証制度「SE 住宅性能保証制度」開始
・大阪支店開設

2000

・SE 構法 建築基準法第38条建設大臣認定取得

2001

・木造国内初の軒高11メートル 木造3階建て建設
・特定建設業許可を取得

2002

・SE 構法・ α -SE 構法・SE-R パネル・SE 構法専用構造計算プログラム
「木質構造計算プログラムWOLF-2」建築基準法68条の26国土交通大臣認定取得

2003

・SE 構法を使用した住宅ブランド「重量木骨の家」の供給を開始

2004

・株式会社良品計画との合併子会社「ムジネット株式会社」（現株式会社MUJI HOUSE）へ資本参加

2005

・SE 構法（スキップフロア）建築基準法68条の26国土交通大臣認定取得

2006

・森林認証 PEFC-COC 認証取得
・設計事務所ネットワーク事業を開始
・「東京デザイナーズウィーク ロハス・コンテナビレッジ」出展

2007

・「インテリアフェスティバル 2007」出展

2008

・SE 構法を含むシステムが平成20年度「超長期優良住宅先導的モデル」に採択（～2010）

2009

・SE 構法で国産材の本格供給を開始
・長期優良住宅支援室を設立（現：環境設計部）

2010

・環境設計サービスを開始
・SE 構法を含むシステムが平成22年度「長期優良住宅先導事業」に採択

2011

・SE 構法累計10,000棟
・SE 構法による認定長期優良住宅累計1,000棟

2012

・SE 住宅ローンサービス株式会社設立
・SE 構法木質フレームシステム 日本建築センター構造評定取得
・SE 構法の実大振動台実験開始

2013

・株式会社エヌ・ディー・エヌを分社
・重量木骨の家プレミアムパートナーによる提案が平成25年度「地域型住宅ブランド化事業」に採択（～2015）

2014

・「耐震住宅100% 実行委員会」設立



・株式会社MAKE HOUSE 設立
・「MAKE HOUSE 木造住宅の新しい原型展」開催



2015

・第82回毎日広告デザイン賞優秀賞受賞（耐震住宅100%実行委員会）
・ジャパンレジリエンスアワード2015 最優秀レジリエンス賞受賞（耐震住宅100%実行委員会）
・グッドデザイン賞受賞（MAKE HOUSE Project）
・『ML WELCOME』（ハースト婦人画報社）発刊

2016

・「第11回ロハスデザイン大賞2016新宿御苑展」にエコハウス出展
・宮城県石巻市「Reborn-Art Festival × ap bank fes 2016」協賛
・国土強靱化貢献団体（レジリエンス認証）取得

2017

・「Reborn-Art Festival 2017」協賛
・SE 構法の食堂「はまさいさい」オープン



・非営利団体「一般社団法人耐震住宅100% 実行委員会」設立
・横浜美術館「ヨコハマトリエンナーレ2017」協賛



2018

・「家づくり構造計算ナビ」開始
・東京都美術館「おべんとう展 食べる・集う・つながるデザイン」協賛

2019

・東京証券取引所 JASDAQ スタンダード市場に上場
・「第18回木質材料・木質構造技術研究基金賞・第二部門（大熊幹章賞）」受賞
・YADOKARI 株式会社と資本業務提携

2020

・ネットイーグル株式会社との合併会社 株式会社木構造デザイン設立
・SE 構法構造加工品の出荷数が創業以来最多更新

2020

2021

・株式会社MUJI HOUSE が独立行政法人都市再生機構と「MUJI×UR に関する連携協定」締結
・「パビリオン・トウキョウ2021」協賛



・木造建築業界初の構造躯体瑕疵保証制度「非住宅版SE 構法 構造性能保証制度」開始
・株式会社MAKE HOUSE がBIM/CAD センター「MAKE HOUSE BIM BASE」開設
・株式会社MAKE HOUSE がシミュレーションサービス「MAKE ViZ」開始

2022

・木造構造の実験・研究施設「木構造技術センター」（ティンバーラボ）開設



・東京証券取引所の株式市場再編により「JASDAQ（スタンダード）」へ移行
・「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）」を更新
・株式会社MAKE HOUSE 完全子会社化
・株式会社翠豊を連結子会社化
・東京本社を東京都千代田区に移転

2023

・株式会社MUJI HOUSE が農林水産省と「木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」締結
・SE 住宅ローンサービス株式会社の株式の一部をパブリックホールディングス株式会社に譲渡し合併事業化
・SE 構法による木造5階建対応の構造評定を取得
・「TAISHIN Standards」2023年度グッドデザイン賞受賞（耐震住宅100%実行委員会）

2024

・「家づくり構造計算ナビ」特許取得
・「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）」更新
・SE 構法による「無印良品」初の木造建築2店舗オープン
大規模木造建築では国内初の『ZEB』認証

2024

2024 Topics

SE 構法による「無印良品」初の木造建築2店舗オープン
大規模木造建築では国内初の『ZEB』認証

エヌ・シー・エヌが構造設計、MUJI HOUSE が設計・施工を行う、床面積2,000㎡規模の大規模木造店舗「無印良品 日田」（大分県日田市）、「無印良品 唐津」（佐賀県唐津市）が、2024年9月にオープンしました。
両店舗は、国内初の大規模木造模建築として最高ランク『ZEB』認証*を取得。エヌ・シー・エヌでは環境設計も担当しました。



※『ZEB』認証：BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）における評価。
快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。

「YAWN YARD Kouri Island」がオープン
SE 構法の特徴を活かした自然に溶け込む開放的な平屋

沖縄県北部に位置する古宇利島に、リゾートホテル「YAWN YARD Kouri Island」（沖縄県国頭郡）が2024年9月に開業しました。長坂常氏（スキーマ建築計画一級建築士事務所）設計の宿泊施設として、SE 構法の特徴を十分に活かした特徴的な空間です。約2,600㎡の広大な敷地に平屋8室を配し、自然を感じられるようすべての客室に広いテラスを設けた開放的な宿泊施設です。



世界初のオリジナルデザイン店舗にSE 構法を採用
「ブルーボトルコーヒー 豊洲パークカフェ」オープン

エヌ・シー・エヌが構造設計、長坂常氏（スキーマ建築計画一級建築士事務所）が設計を担当した「ブルーボトルコーヒー 豊洲パークカフェ」（東京都江東区）が豊洲ぐるりパーク内に2024年8月にオープンしました。ブルーボトルコーヒーによるオリジナル店舗の建設は、SE 構法の本店舗が世界初となります。公園内へとゆるやかに繋がる広い開口部や内外装に見られる木材など、ブルーボトルコーヒーの世界観がSE 構法によって豊かに表現されています。



翠豊の高度な加工・施工技術が
大阪・関西万博のパビリオンで採用

世界最大級の木造建築物として「大屋根リング」が注目される大阪・関西万博会場において、構造体や仕上げ材に木材を使用する「ブルーオーシャン・ドーム」（設計：坂茂）と「ウズベキスタンパビリオン」（設計：アトリエ・ブリュックナー）で翠豊が木材加工・施工を担当しました。



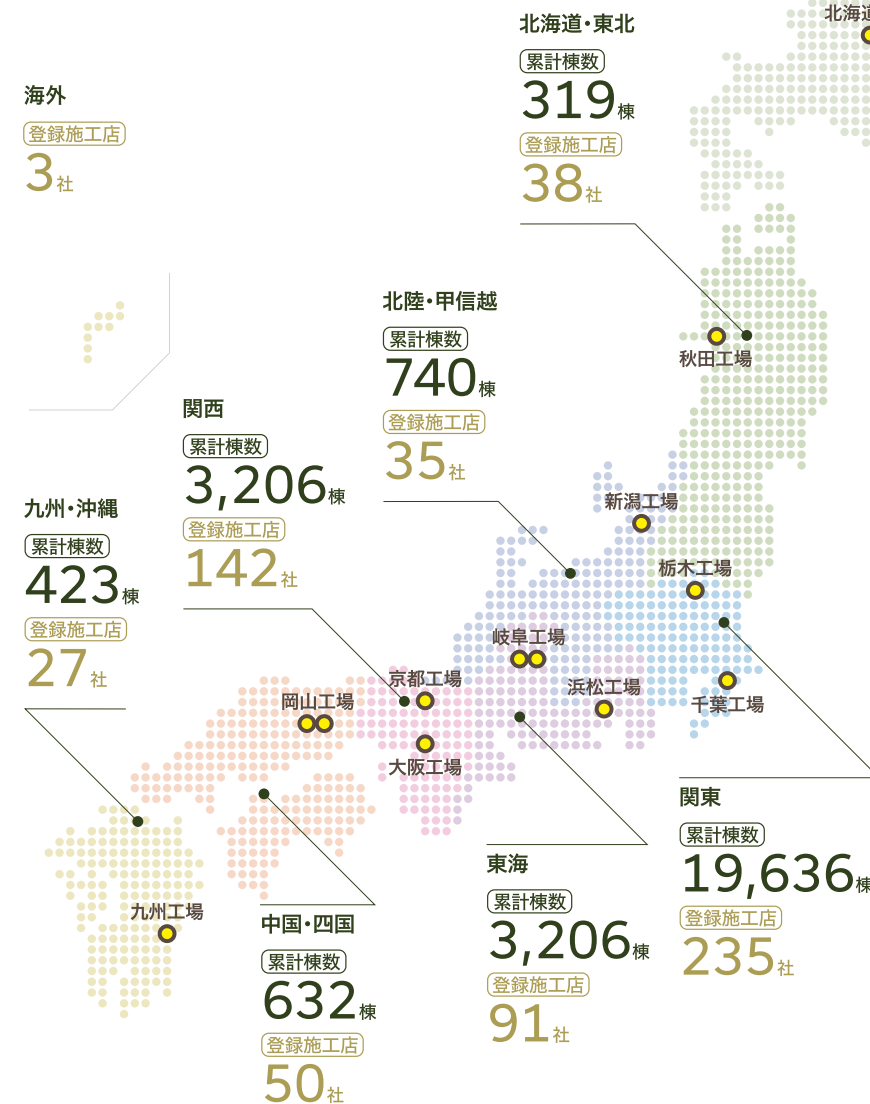
取り組みと実績 1

木造耐震設計事業 住宅分野

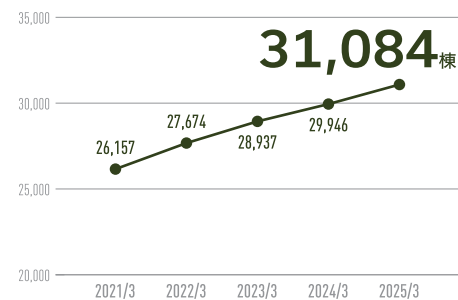
数字でみる取り組みと実績

工務店を中心としたSE 構法登録施工店ネットワークを通じて、構造計算された耐震性の高い木造建築を実現する当社独自の建築システム「SE 構法」は日本全国に広がっています。2024年度は登録施工店が15社増加し、国内外合わせて621社となりました。また、提携する構造材の加工工場も新潟工場を加え、13工場となりました。2024年度の構造計算出荷数は1,138棟となり、累計出荷数は31,084棟となっています。

■ 累計棟数 / 登録施工店数 / 加工工場



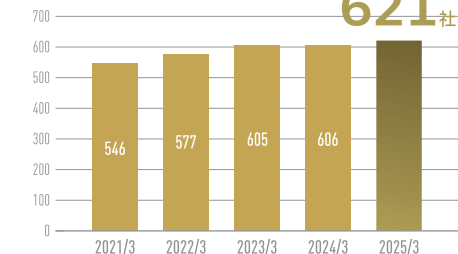
■ SE 構法構造計算 累計出荷棟数
(1996年12月～2025年3月)



■ 2024年度 SE 構法構造計算 出荷棟数
(2024年4月～2025年3月)



■ 年度別 SE 構法登録施工店数
(2025年3月末現在)



主な事業



木造耐震設計事業〈住宅分野〉は、工務店を中心とした全国のSE 構法登録施工店ネットワークを通じて推進する「ネットワーク展開」と、ハウスメーカーを通じて推進する「ハウスメーカー対応」に分類します。

工務店や設計事務所、ハウスメーカーそれぞれに、木造住宅の構造設計、資材の安定供給、各種性能保証の提供と、様々な課題をワンストップで解決できる充実したサービスと共にネットワークを運営しています。



2024 Topics

「重量木骨island デジタル建築ギャラリー」を開設

SE 構法による高級住宅ブランド「重量木骨の家」のウェブサイト上に「重量木骨island デジタル建築ギャラリー」を2024年11月20日に公開しました。インターネットを通じて、理想の住まいづくりに役立つビジュアル情報を提供します。見る人がバーチャル体験をしながら、「重量木骨の家」を検討し、プランニングの参考にさせていただくことを目的としています。360度パノラマバーチャルリアリティで住宅内部を歩く感覚で、空間全体のボリュームや家具の配置イメージ、壁の位置や窓の大きさなどをリアルにウェブ上で体験ができます。さらに、住宅の設計やSE 構法の構造躯体のイメージも確認でき、安心・安全への理解を深めることができます。



取り組みと実績 2

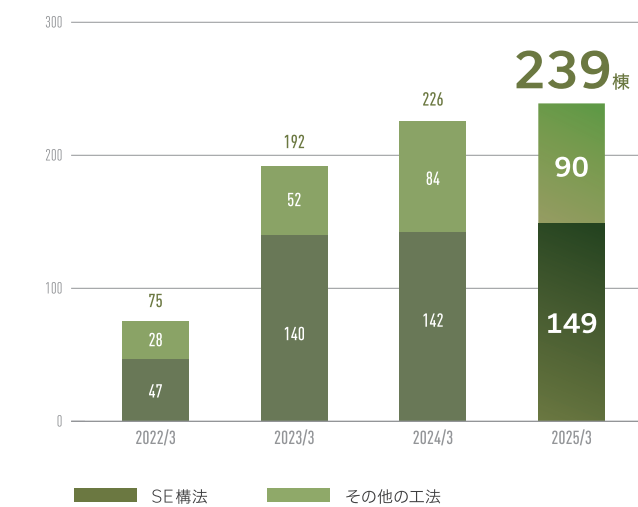
木造耐震設計事業 非住宅分野

数字でみる取り組みと実績

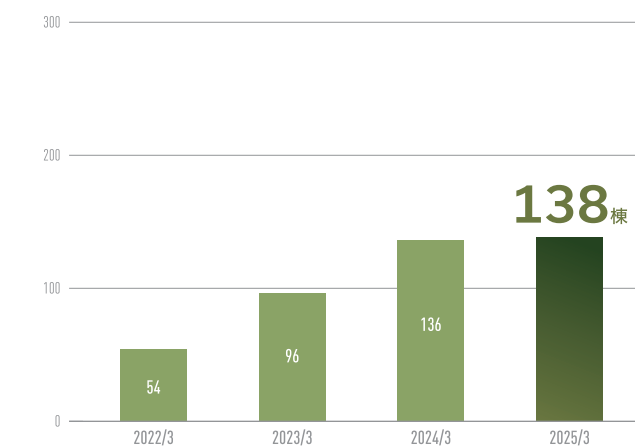
脱炭素社会の実現に向けた木造化を推進する法改正の影響から、大規模木造建築市場は年々広がり、建物の規模も大型化しています。エヌ・シー・エヌでは、構造設計や提携プレカット工場、施工店ネットワークとそれぞれを強化し、市場拡大に対応するために生産体制の整備を行い事業拡大を目指します。

2024年度はSE構法、その他工法合計で構造計算出荷棟数は239棟（前年比+5.8%）、SE構法出荷棟数は138棟（前年比+1.5%）と昨年度より順調に増加しました。

■ 年度別 構造計算出荷棟数（非住宅）



■ 年度別 SE構法出荷棟数（非住宅）



主な事業



木造の非住宅市場は急激に拡大していますが、加工や施工、流通に取り組む企業が少なく、防耐火や耐震など厳しい法規制への対応が求められています。さらに業界では経験者が足りていないことも大きな課題となっています。

エヌ・シー・エヌの木造耐震事業〈非住宅分野〉は、これまでの豊富な実績からSE構法によるコストとプランの両立を図った最適な構造提案を行います。また用途の多様化、大型化する大規模木造建築の実現に向けて、最適な材料の選択、資材調達、加工など施工・完成に至るまでの流れが円滑になるようサポートします。

また、木構造デザインでは在来軸組工法や2×4工法、CLT（直交集成材）工法などSE構法に限らず、最適な工法の提案まで行います。さらに、翠豊では建築家による難易度の高い意匠設計を実現する特殊加工と施工力にも高度な技術力で対応することで課題を解決し木造化へ進む社会の趨勢を止めることなく、その流れを加速することを目指します。



2024 Topics

翠豊が施工 木造の特徴を活かした大規模木造建築

SE構法による木造商業施設「MORI no KI TERRACE」（広島県広島市）が2025年3月に開業しました。この施設は広島県産材を一部に使用した、広島県庁舎敷地有効活用事業の一環です。また、老舗酒造の倉庫兼店舗「ESHIKOTO サイモン棟」（福井県吉田郡）も2024年10月に竣工。SE構法に加えCLTや湾曲集成材をダイナミックに使用し、木造の特徴を最大限に活かしています。

2物件ともに、エヌ・シー・エヌグループにおいて高度な大規模木造建築の技術を担う翠豊が、躯体部分の建て方を担当しました。



取り組みと実績 3

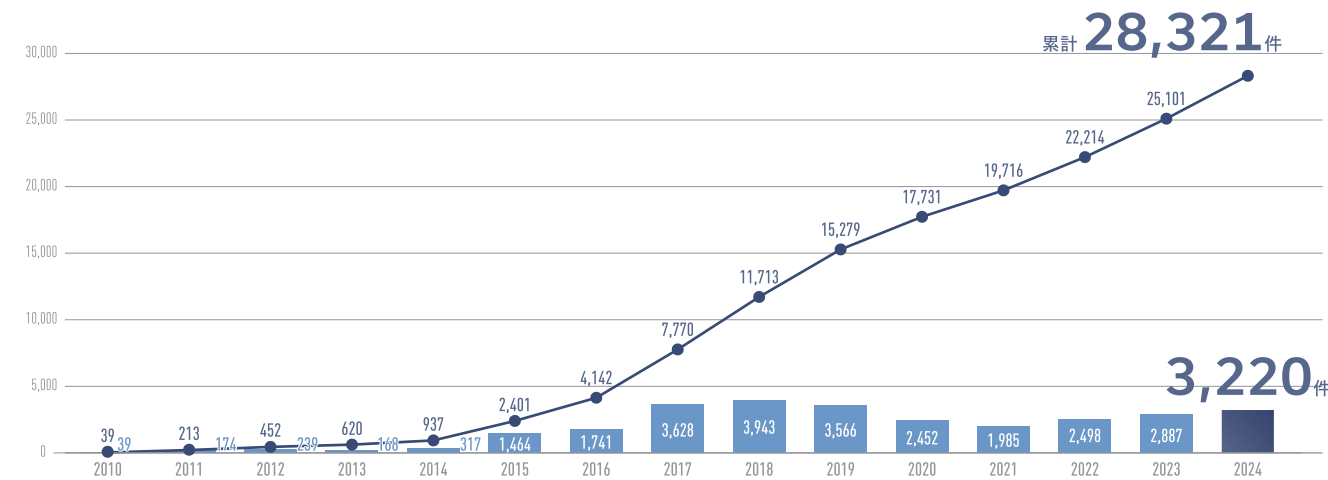
環境設計分野

数字でみる取り組みと実績

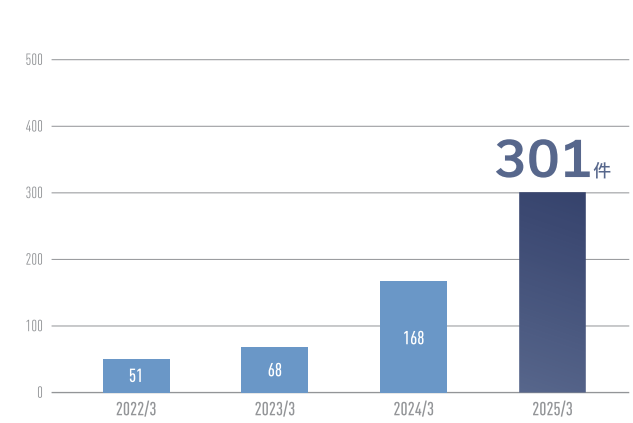
建築環境設計分野は、2010年より住宅の温熱環境と省エネルギー性能の向上を目的に、省エネルギー計算サービスを提供しています。政府は2021年10月に2050年脱炭素社会の実現を目指す
と宣言し、省エネキャンペーン（補助金制度）を設け住宅の温熱環境の改善と省エネルギー性能の向上を推進してきました。
また、2025年4月の省エネ基準適合義務化に向け、当社の省エネ計算件数は2021年度以降2桁成長を続け、2024年度の実績は年間3,220件に達し、累積計算件数は28,321件になりました。



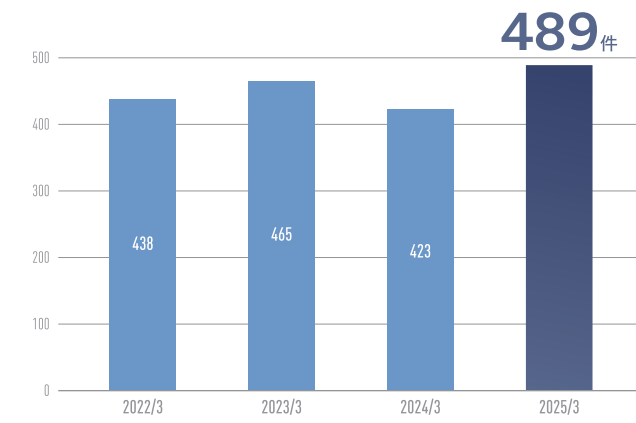
年度別 省エネルギー計算件数



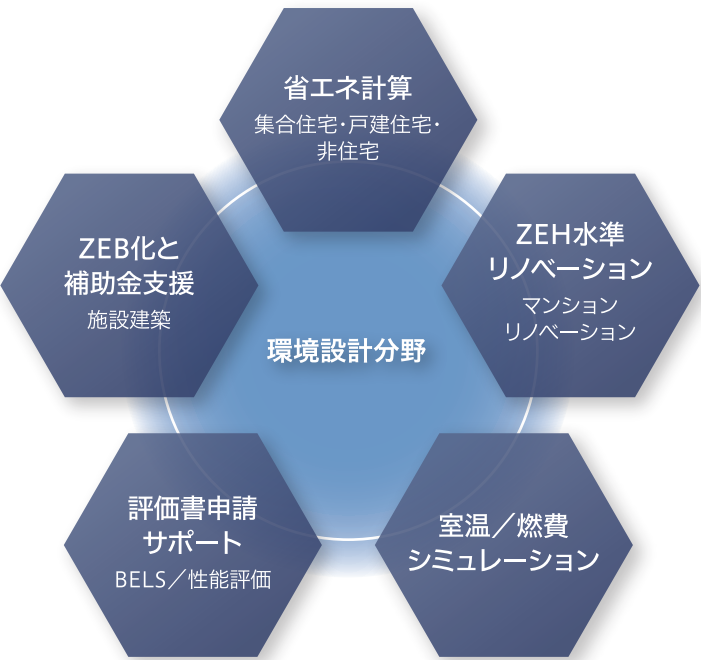
年度別 リノベーション省エネルギー計算件数



年度別 長期優良サポート件数



主な事業



住宅の資産価値向上、ゼロエネルギー住宅の普及に向けて省エネルギー計算やシミュレーションサービスを提供します。

資産価値のある住宅を提供する仕組みを作ることを目的に長期優良住宅の推進を行っています。戸建住宅分野においては省エネ計算だけでなく、補助金や住宅ローン控除を受ける際に必要となる長期優良住宅適合証明の取得をサポートしています。また、集合住宅・施設建築物（非住宅）まで、幅広い省エネ計算サービスを提供し、集合住宅や非住宅分野においては、賃貸時の省エネ性能の表示制度が努力義務化されたことにより、新築・既存問わず省エネ計算とBELS 評価申請サポートの依頼件数が大幅に伸長しました。

非住宅分野においては、木造化・ZEB化のニーズにお応えるために、ZEBプランナーを取得。設備設計からZEB提案までをワンストップでサービス提供しています。



2024 Topics

勉強会・セミナーを開催

改正対策の勉強会

2025年4月の建築基準法の改正に向けて、7月・12月・2月と3回にわたり全国3会場においてSE 構法登録施工店向けの勉強会を開催しました。審査実績のあるSE 構法の構造計算書を活用すれば審査機関が短縮されることを解説しました。

GX 志向型住宅 徹底攻略セミナー

環境省は更なる高断熱化と省エネルギー化を推進するために、最大160万円の補助金が支給される「GX 志向型住宅」を発表しました。それを受けて1月・2月と2回にわたりオンラインセミナーを実施し、延べ1300人が視聴しました。

パッシブデザイン勉強会

高断熱化住宅の普及に伴い、さらなる省エネと健康・快適を実現するパッシブデザインについて、重量木骨の家プレミアムパートナーの2社から講師を招き、実例のシミュレーションや実測結果をもとにオンラインセミナーを開催しました。

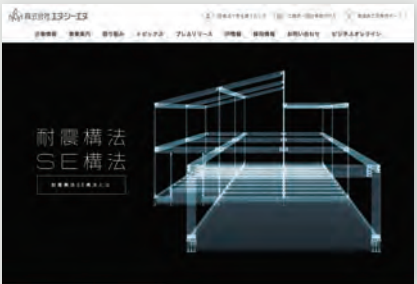


プロモーション

Website

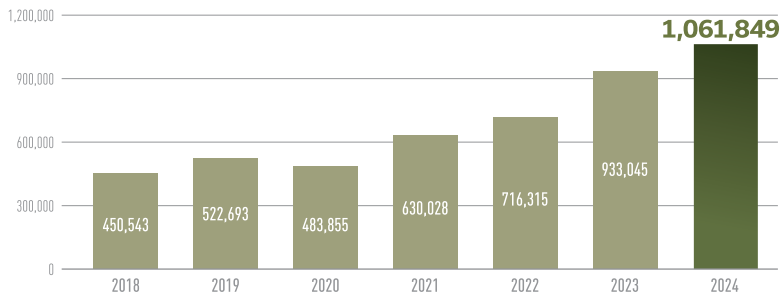
エヌ・シー・エヌ Website

エヌ・シー・エヌのコーポレートサイトとして、事業案内や社会貢献活動の紹介、プレスリリース、IR、採用情報などを掲載しています。また、根幹事業であるSE構法の情報をはじめ、大規模木造建築事業や環境設計事業など、木造建築のプラットフォームとしての情報も数多く提供しています。



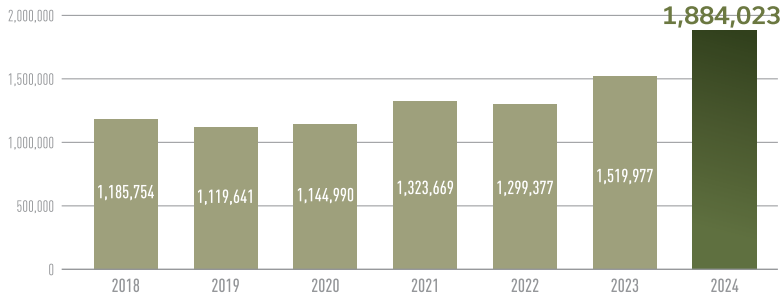
セッション

2024年度のセッション数は1,061,849回で、**前年比114%**となりました。数値が伸びた要因としては、SEOの強化やWeb広告の運用を社内で行い最適化を進めたこと、また、SE構法のInstagramを立ち上げたことなどがあげられます。



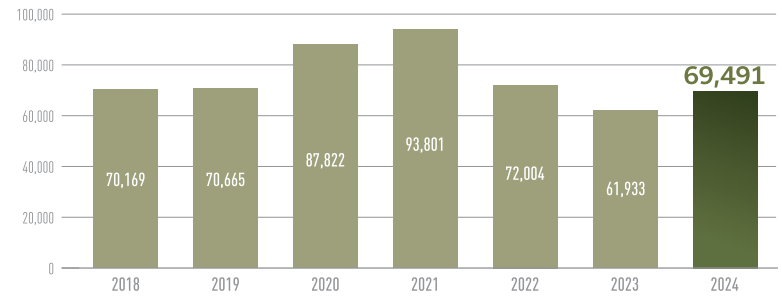
ページビュー

2024年度のページビューは1,844,023回で、**前年比123%**となりました。数値が伸びた要因としては、SE構法のコンテンツを強化してより多くのページを見ていただけるようになったことがあげられます。



登録施工店 Webリンク

登録施工店のサイトに送客した数を表すSEリンク。2024年度は69,491回で、**前年比112%**となりました。サイトへの集客数が伸びたことと、エンドユーザーに興味を持ってもらえるコンテンツやSE構法の情報を増やしたことが要因と考えられます。具体的には「SE構法ガイドムービー」を掲載をしたり、登録施工店に住宅の施工例掲載を促し、住宅実例の掲載件数が増えたことなどがあげられます。SE構法で家を建てたい方への情報が充実することで、登録店への興味関心へとつながりました。



Talkshows

『ML WELCOME』プレミアムトークショーを東名阪3会場で開催

エヌ・シー・エヌはハースト婦人画報社発行の雑誌『MODERN LIVING』とコラボレーションし、特別編集をした別冊『ML WELCOME 木の家で暮らそう』を発行しています。そのプロモーションとして「住まいがもたらす豊かさ」をテーマに、東京、大阪、名古屋の3会場でトークショーを開催しました。食や家づくりを大切にする暮らしを実践し、多くの人に支持されている3名の方をゲストにお迎えし、『MODERN LIVING』編集長 高坂敦信氏が聞き手となって、住まいづくりについての考え方や暮らしの楽しみ方などを語っていただきました。

【開催概要】

タイトル:

ML WELCOME 木の家で暮らそう
プレミアムトークショー

主 催：株式会社エヌ・シー・エヌ

協 力：株式会社ハースト婦人画報社

定 員：100名(各回)

参加費：無料

■ 大阪会場

住まいがもたらす豊かさとは？

ゲスト：行正り香氏
(料理研究家・生活空間プロデューサー)
日 時：2024年9月29日(日) 13:00-14:30
会 場：コンラッド大阪



■ 名古屋会場

住まいがもたらす豊かさとは？
100年続く食・住まい・そして暮らし

ゲスト：コウケンテツ氏(料理研究家)
日 時：2024年10月27日(日) 13:00-14:30
会 場：ヒルトン名古屋



■ 東京会場

住まいがもたらす豊かさとは？
永く慈しむ木の家、そして暮らしの楽しみ

ゲスト：クリス智子氏(J-WAVE ナビゲーター)
日 時：2024年11月16日(日) 13:00-14:30
会 場：東京ミッドタウン・カンファレンス



広報

Magazine

Network SE

『Network SE』は、エヌ・シー・エヌの機関誌として隔月発行しています。SE 構法による住宅、大規模木造建築の施工実例、建築家や様々な専門家へのインタビューや連載などを掲載しています。SE 構法登録施工店や設計者、ゼネコンなどに配布し安全とデザインの未来をひらくSE 構法の最新情報を広く伝えています。

	Vol.192	Vol.193	Vol.194	Vol.195	Vol.196	Vol.197
巻頭インタビュー	川上元美 (デザイナー)	佐藤淳(構造家、 東京大学教授)	稲山正弘(建築家、 東京大学名誉教授、 ホルツストラ主宰)	倉片俊輔(建築史家、 大阪公立大学大学 院工学研究科教授)	多田千尋(東京おも ちゃ美術館 館長)	幅允孝 (ブックディレクター、 BACH代表)
SE構法実例	SANU 2nd Home 一宮1st	悠悠ホーム 大野城本店	九州電力薩摩川内複 合施設「センノオト」	エナジックススポーツ 高等学院学生寮	YAWN YARD Kouri Island	無印良品 日田
SE構法実例	富津W邸	中庭のある家	仙台T邸	宝塚N邸	川越市LCCM	貝塚T邸_MY HOME
木造の21世紀を考える	相田武文(建築家)	連勇太郎(建築家)	大室祐介(建築家)	北川温(建築家)	魚谷繁礼(建築家)	中川エリカ(建築家)
私の家	能作文徳(建築家) 常山美央(建築家)	宮本佳明(建築家)	須藤剛(建築家)	吉永規夫(建築家)	西川日満里(建築家) 坂爪祐丞(建築家)	鈴木淳史(建築家)
より良い住まいの 道しるべ	インテリアペイント が叶える自分らしい 空間	植物にしかできない コーディネートを楽し む	設計段階からインテ リアグリーンの場所 を想定しておく	アウトドア家具と バイオフィリック デザイン	人が集う場づくりに アウトドア家具を 活用	多くの選択肢を活用 して建主の心を掴む バスルームを

Magazine

ML WELCOME 木の家で暮らそう

『ML WELCOME』は、『MODERN LIVING』の別冊として2015年から2冊発行しています。卓越した提案力と技術力を持つ「重量木骨の家プレミアムパートナー」によって建てられたSE 構法の住宅の中から編集部が厳選した実例を紹介しています。また各号で、SE 構法の最新モデルハウスやプレミアムパートナー全リストなど家づくりを検討する人に向けて、SE 構法の魅力を伝えます。

Vol.17は「おいしい家」をテーマに、住まいの中心に置かれたキッチンやLDKで、家族との時間を楽しむ住宅を紹介しました。また、料理研究家のコウケンテツ氏と編集長の高坂敦信氏による、住まいとキッチンへのこだわりを語るトークショーレポートや、おすすめレシピなどを掲載しました。

Vol.18はテーマを「拡がる家」として、大開口

や吹き抜け、広いリビングなどSE 構法の特長を活かした住まいがもたらす、豊かな暮らしを楽しむ住宅を紹介しました。巻頭はインテリアデザイナーとしても活躍される行正り香氏と、編集長の高坂敦信氏のトークショー「住まいがもたらす豊かさとは？」のレポートと、北欧家具と和の素材をミックスした行正氏の京都スタジオも掲載しました。



- Vol.17
- 「おいしい家」実例・11
- ・テラジマアーキテクト
 - ・タイコーアーキテクト
 - ・TIMBER YARD
 - ・Mstyle house
 - ・住まい設計工房
 - ・ビルド・ワークス
 - ・和工務店
 - ・つむぐ家
 - ・梅原建設
 - ・クウェスト
 - ・roomz 星野建築事務所



- Vol.18
- 「拡がる家」実例・9
- ・roomz 星野建築事務所
 - ・TIMBER YARD
 - ・ニケンハウジング
 - ・アーキレーベル 鈴木組
 - ・kotori
 - ・タイコーアーキテクト
 - ・ビルド・ワークス
 - ・幸和ハウジング
 - ・Mstyle house

Publicity

フリーパブリシティ

新聞は建築・木材・住宅関連の業界紙を中心に、SE 構法による大規模木造建築の実例が多数掲載されました。雑誌にはSE 構法の特長を活かした、デザイン性の高い住宅実例などが掲載されました。テレビ放送は住宅紹介番組で、SE 構法の住宅が登場しました。ウェブ掲載では、2024年度配信した12件のプレスリリースからの情報のほか、IR 関連の情報も多数掲載されステークホルダーへも幅広く情報を提供しました。

2024/9/25
日刊木材新聞
サイモン棟にSE 構法採用

2024/10/1
新建築
無印良品 唐津・日田

2024/4/18
南日本新聞
薩摩川内「センノオト」
お披露目

2024/5/16
I'm home
「T Residence」
設計：utide 施工：マツミハウジング

2024/6/7
VERY
「小谷邸」
設計：L_DESIGN 建築設計事務所
施工：素箱

■フリーパブリシティ掲載数

媒体	2024 年										2025 年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新聞	10	16	19	4	6	9	3	13	25	6	7	12	130	
雑誌	3	2	10	2	1	7	3	0	0	0	0	6	34	
テレビ・ラジオ	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	
ウェブ	100	137	128	317	270	172	121	468	500	353	226	75	2,867	
計	113	155	157	323	277	189	127	483	525	359	233	93	3,034	

Seminars/Tours	
大規模木造建築 セミナー・見学会	
設計事務所や建設会社を対象に、SE 構法の特長や物件の計画から施工までのポイント、多様な用途別実例の紹介をするセミナーと、日本各地で開催した現場見学会から大規模木造建築について理解と体験を深める機会を今年度も多数設けました。いずれもリアルな開催となり、木造への取り組みを検討する地元設計者や建設業者に多数ご参加いただき、いずれも高い評価をいただきました。	
また、SE 構法以外の工法のサポートを提供する木構造デザインも、完成見学会や申請、法改正対応セミナーなど開催しました。	
木構造デザイン	
2024/6/3 参加者数 :50人 児童養護施設「星美ホームサローネ」内覧会 (エヌ・シー・エヌと共催)	2024/12/12 参加者数 :234人 2025年法改正まったなしの3つのポイント 申請手続き編
2024/11/13 参加者数 :286人 4号特例縮小 2025年建築基準法改正対策セミナー	2025/2/13 参加者数 :193人 非住宅木造 自由形態に応える木造設計の課題
特建事業部	
2024/1/26 参加者数 :34人 【見学会】大規模木造店舗構造見学会	2024/6/27 参加者数 :62人 【木造塾】愛知木造塾 カーザミカワ共催
2024/2/21-22 参加者数 :74人 【木造塾】東京木造塾	2024/6/28 参加者数 :54人 第1回 中大規模木造の始め方とNCNができること
2024/4/18 参加者数 :70人 【見学会】薩摩川内複合施設「センノオト」完成見学会	2024/7/10 参加者数 :74人 【見学会】サイモン棟構造見学会
2024/4/25 参加者数 :32人 【木造塾】四国木造塾 in 愛媛 未経験者でもよくわかる、中大規模木造建築の“ポイント”	2024/7/26 参加者数 :16人 【木造塾】東北木造塾
2024/4/26-27 参加者数 :32人 【見学会】中規模木造建築構造現場見学会 in 山口 【山口県司法書士会館新築工事】	2024/8/7 参加者数 :45人 【2024年版】第二回中大規模木造実現のためのオンラインセミナー
2024/5/17 参加者数 :21人 【木造塾】大分木造塾 未経験者でもよくわかる、中大規模木造建築の“ポイント”	2024/9/25 参加者数 :25人 【見学会】無印良品日田 完成見学会
2024/5/23 参加者数 :26人 【木造塾】鹿児島木造塾 未経験者でもよくわかる、中大規模木造建築の“ポイント”	2024/10/11 参加者数 :28人 【木造塾】愛知木造塾 カーザミカワ共催
2024/5/30 参加者数 :33人 【木造塾】兵庫木造塾 未経験者でもよくわかる、中大規模木造建築の“ポイント”	2024/10/29 参加者数 :24人 非住宅木造建築セミナー ～木造化・木質化に取り組むすべての方へ～
2024/6/20 参加者数 :68人 【木造塾】大阪木造塾 平田タイル共同	2024/11/5 参加者数 :60人 【木造塾】東京木造塾 木造提案のために押さえるべき“ポイント”
2024/6/25 参加者数 :30人 【木造塾】広島木造塾 Vol.3 木造提案のための押さえるべきポイント	2024/11/12 参加者数 :16人 【木造塾】静岡木造塾 vol.3 中大規模木造建築の構造と環境性能の見える化
	2025/2/7 参加者数 :37人 【見学会】中山建材店社屋 構造見学会

Training Sessions
SE 構法施工管理技士 技術研修会・更新研修会
SE 構法技術研修会で設計・施工基準、手続きなどについて修了した後、試験に合格した正しい知識を持つ「SE 施工管理技士」によってSE 構法は施工されます。
2024年度の技術研修会は、引き続きE-learning形式にて、第193回から第204回まで12回開催しました。新たに194名のSE 構法施工管理技士にご登録いただき、2024年度の有資格者総数は1,651名となりました。
また、SE 施工管理技士は3年ごとに更新研修会を受講することで、最新技術や情報を学ぶことでSE 構法についての知識を改めて深めています。
2024年度の更新研修会は、2025年3月にオンラインで開催し、328名が受講しました。
技術研修会
第193回～第204回（12回開催） E-learning 形式（2024年4月～2025年3月）
更新研修会
2024年3月 参加者数 :328名 オンライン形式
Study Sessions
SE 構法登録施工店 勉強会
SE 構法登録施工店を対象に建築・住宅産業の動向や法改正など、様々な情報を発信する勉強会を定期的に開催しています。昨年度に引き続きオンライン開催に加えて、リアル開催も併用することで、登録施工店相互の交流・情報交換も行うことができました。
2024年度は迫る建築基準法改正への事前対策や情報整理を中心に3回開催し、多くの登録施工店にご出席いただきました。

第69回
2024/7/4 参加者数 :23人 名古屋会場
2024/7/5 参加者数 :58人 大阪会場
2024/7/12 参加者数 :42人 東京会場
●2025年4月の建築基準法改正における最新情報とその対策について ゲスト講師：本間隆太氏 （ハウスプラス住宅保証株式会社 理事） ●法改正に向けてSE 構法を最大限活用できる新営業ツール・設計ツールのご紹介 ●事例発表 SE 構法を活かした非住宅施設建築のご紹介
第70回
2024/12/2 参加者数 :268人 オンラインセミナー
●法改正の省エネ審査と構造審査 ●変わる木造非住宅の地域ビルダー戦略事例 ●SE 構法サポート編
第71回
2025/1/23 参加者数 :24人+オンライン38人 名古屋会場
2025/1/24 参加者数 :23人+オンライン66人 大阪会場
2025/1/28 参加者数 :68人+オンライン117人 東京会場
●法改正前の直前対策 ●2025年 エヌ・シー・エヌからのご提案 ●SE 構法による商品戦略 ●非住宅木造案件の受注 ●エヌ・シー・エヌポータルサイトのリニューアルについて



会社概要	
会社名	株式会社エヌ・シー・エヌ
代表者	代表取締役社長 田鎖郁男
設 立	1996年12月11日
従業員数	単体 102人、連結 145人（2025年3月末現在） （構造一級建築士 1名、一級建築士 14名、二級建築士 15名）
事業内容	木造耐震設計事業 住宅分野 ネットワーク展開（重量木骨の家） 住宅分野 ハウスメーカー対応 OEM供給（株式会社MUJI HOUSE） 大規模木造建築(非住宅)分野（特建事業・株式会社木構造デザイン・株式会社翠豊）
その他	省エネルギー計算サービス（温熱計算サービスなど） BIM事業（株式会社MAKE HOUSE）
東京本社	100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F TEL : 03-6897-6311 FAX : 03-6770-4228
大阪支店	530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地1-1-49 梅田滋賀ビル TEL : 06-6344-0588 FAX : 06-6344-0733
免許登録	一級建築士事務所登録 東京都知事登録 第53799号 建設業登録 国土交通大臣許可(特-2)第23620号 宅地建物取引業者免許 東京都知事登録(1)第101790号
関連会社	株式会社MAKE HOUSE 株式会社木構造デザイン 株式会社翠豊 株式会社MUJIHOUSE（無印良品の家） SE住宅ローンサービス株式会社 N&S開発株式会社 株式会社イデューニバーサル
2025年4月	



株式会社エヌ・シー・エヌ 年次報告書2024

発行人: 田鎖郁男

発行日: 2025年6月

発行: 株式会社エヌ・シー・エヌ

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル

TEL: 03-6897-6311

©NCN2025 Printed in Japan 禁無断転載複写

www.ncn-se.co.jp/

